

1. 科目名 (単位数)	人権教育 (2 単位)	3. 科目番号	JNGC2101
2. 授業担当教員	福島 裕		
4. 授業形態	講義、グループ学習、討議、発表等	5. 開講学期	春期・秋期
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	<p>○人権教育とは「人権尊重の精神の涵養を目的とする教育活動」(「人権教育及び人権啓発の推進に関する法律第2条」)であり、国民は「人権尊重の精神の涵養に努めるとともに、人権が尊重される社会の実現に寄与するよう努めなければならない。」(同法律第6条「国民の責務」)とされている。</p> <p>○上記の趣旨を受けて、本科目においては、日本及び海外の人権課題(問題)の現状や解決・改善の取り組みについて理解を深める学習を行う。</p> <p>○学校や社会における継続した人権教育の必要性やその在り方を実践的に学習し、人権感覚を磨き、身に付けられるようにする。</p> <p>○人権教育に関わる基本的な法例等についても学習する。</p>		
8. 学習目標	<p>○人権の歴史や日本国憲法における国民の権利について再確認し、重要点についての理解を深めることができる。</p> <p>○人権教育の根拠法である「人権教育及び人権啓発の推進に関する法律」や「人権教育・啓発に関する基本計画」について、目的、基本理念、内容について理解を深めることができる。</p> <p>○『人権教育・啓発白書』に示されている我が国の人権課題を把握し、人権尊重に関する現状と諸課題についての理解を深め、人権課題の解決に努めていこうとする姿勢を身に付ける</p> <p>○学校や社会において、人権感覚を磨き身に付ける継続した取り組みの必要性について、積極的に授業に参加し、理解を深めることができる。</p> <p>○人権擁護を目的とする種々の国際法(条約)や国内法の概要を理解できる。</p>		
9. アサインメント(宿題)及びレポート課題	<p>○中間レポート課題「子どもの人権課題について、あなたが関心を持った課題を選び、その理由と解決に向けての取り組みを具体的に述べなさい。」</p> <p>○期末レポート課題「学習した人権課題のうち(子どもの人権を除く)、自分が最も重要と考えた人権課題を一つ取り上げ、その理由と課題の解決についてあなたの考えを述べなさい。」</p>		
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】</p> <p>○川名はつ子監修 『はじめまして、子どもの権利条約』東海教育研究所東海大学出版部</p> <p>○法務省・文部科学省編 令和3年版『人権教育・啓発白書』勝美印刷株式会社</p> <p>○中野陸夫 編 『早わかり人権教育小事典』明治図書</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <p>1. 人権教育の意義及び基礎を理解しているか。</p> <p>2. 人権問題の現状や解決・改善の取り組みについて自らの問題として理解を深めているか。</p> <p>○評定の方法</p> <p>グループでの活動、授業への積極的参加度、レポート等を総合して評価する。</p> <p>1 グループでの活動 総合点の30%</p> <p>2 積極的態度(発言、討議、取り組み等) 総合点の20%</p> <p>3 レポート等(小課題、試験を含む) 総合点の50%</p> <p>上記の他に、本学の規定に定められている3/4以上の出席が単位の取得条件であることも配慮する。</p>		
12. 受講生へのメッセージ	<p>本科目で目指す人間尊重の精神の涵養は、人間育成の根幹に関わるものである。人間尊重の理念は国民の中で共有され、さらに基本的な人権を尊重する社会の構築が望まれている。しかし、急速に進む情報化や国際化の中で、新たな人権問題も生起している。ここでは「女性、子ども、高齢者、障害者、同和問題、アイヌの人々、性的マイノリティ、海外の人権問題」等を具体的に取り上げ、理解を深め課題を明らかにするとともに「互いを理解して尊重する社会」を築く能力を高めるようにする。</p>		
13. オフィスアワー	授業内(初回授業)で周知する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	オリエンテーション 「人権教育」のねらい・学習内容、学習予定表・授業形態の説明	事前学習	教科書、参考書を確認し、目次等に目を通し、これから学ぶ内容の全体像を把握しておく。
		事後学習	オリエンテーションの内容を振り返り、人権教育のねらいや学習する内容、学習の仕方を理解する。
第2回	「人権教育及び人権啓発に関する法律」及び「人権教育・啓発に関する基本計画」の理解	事前学習	内閣府がまとめた国の人権啓発の現状等を、諸資料で調べておく。
		事後学習	人権教育及び人権啓発に関する法律や基本計画の内容を理解する。
第3回	わが国の人権問題の現状と課題、人権啓発映像資料の視聴	事前学習	特に、日本の人権問題の現状と課題について整理しておく。
		事後学習	我が国の人権問題の課題について理解しておく。
第4回	主として女性に関する課題① (男女差別、セクシャルハラスメント、マタニティハラスメント)、	事前学習	女性の人権に関する課題について、関連する資料を調べておく。
		事後学習	セクハラや男女差別の問題点や解決に向けての課題等を整理する。

第5回	主として女性に関する課題② (ドメスティックバイオレンス等)	事前学習	DVに関する現状について教科書を読み、関連する資料を調べておく。
		事後学習	DVの課題と解決の方向性について復習し、理解を深めておく。
第6回	主として子どもに関する課題① (児童の最善の利益と体罰、いじめ、暴力行為、不登校)	事前学習	体罰、いじめ、暴力行為、不登校について教科書や関連する資料を調べておく。
		事後学習	いじめ問題の本質と、その解決に向けての取り組みや、今後の課題について理解を深めておく。
第7回	主として子どもに関する課題② (児童の最善の利益と児童虐待(マルトリートメント)、児童買春・児童ポルノ等について)	事前学習	児童虐待の問題について、教科書や関連する資料を調べ、実態を把握しておく。
		事後学習	児童虐待、児童買春・児童ポルノの問題点とその解決への取り組みについて理解を深めておく。
第8回	主として高齢者に関する課題 (家庭・施設における身体的・心理的虐待等)	事前学習	高齢者に関する課題について、教科書や関連する資料を調べておく。
		事後学習	高齢者虐待の問題点とその解決に向けての取り組みや課題について理解を深めておく。
第9回	主として障害児・障害者に関する問題 (障害児保育・教育、障害者の人権)	事前学習	障害者に関する人権上の課題について、教科書や関連資料から調べておく。
		事後学習	障害児・障害者の問題点と、解決に向けての課題について理解を深めておく。
第10回	主として同和問題に関する課題 (差別問題の現状、解決に向けての取り組み)	事前学習	同和問題の現状と課題について、教科書及び関連資料をもとに把握しておく。
		事後学習	同和問題の現状と歴史について理解を深めるとともに、解消に向けての取り組みを知る。
第11回	主として海外の人権問題 (難民と移民 先住民族・少数民族 気候変動と人権)	事前学習	世界の人権問題について関連資料を調べ把握しておく。
		事後学習	取り上げた人権問題等を解決するための取り組みやこれからの課題についてまとめ理解を深める。
第12回	主としてアイヌの人々、外国人、性的マイノリティーに関する課題	事前学習	アイヌの人々や外国人、性的マイノリティーに関する人権上の課題について、関連資料をもとに調べておく。
		事後学習	アイヌの人々、外国人に関する課題と解決に向けての問題点について理解を深める。
第13回	主として刑を終えて出所した人、犯罪被害者等、インターネットによる人権侵害、北朝鮮によって拉致された被害者等に関する課題	事前学習	刑を終えて出所した人、犯罪被害者、インターネットによる人権侵害、北朝鮮による拉致被害者等に関する人権上の課題について、教科書や関連する資料を調べ、整理しておく。
		事後学習	それぞれの人権問題の現状と課題を理解し、さらに解決に向けての取り組みと問題点について理解を深める。
第14回	主としてHIV感染者・ハンセン病患者等に関する課題 (新型コロナウイルス患者及び感染者を含む偏見・差別をなくすための啓発活動)	事前学習	HIV感染者・ハンセン病患者等に関する課題について、教科書や関連する資料を調べ整理しておく。
		事後学習	HIV感染者・ハンセン病患者等に関する課題と解決に向けての問題点について整理し理解を深める。
第15回	その他の人権課題 (ホームレスの人権、性的指向に関する人権、人身取引<トラフィッキング>や新たな人権課題への適切な対応等)	事前学習	ホームレスの人権、性的指向に関する人権、人身取引<トラフィッキング>に関する課題について、教科書や関連する資料を調べ整理しておく。
		事後学習	ホームレスの人権、性的指向に関する人権、人身取引<トラフィッキング>等に関する課題と解決に向けての問題点について整理し理解を深める。